

専門研修「企画づくりコース」開催

「思い」や「願い」を具現化

1月17日～18日、グリーンアゼト(うち(呉市)を会場に、公衛協とTEAMを対象にした企画づくり研修を開催し、5つの組織から10人が参加しました。「企画づくりコース」

この研修では、思いをまとめる→企画書を書く→発表する→講師の助言を受ける→修正する→発表するという作業を繰り返して、オモイを企画書という形にしています。

今年も地域課題を解決するため、味のある企画が練られました。そのいくつかを紹介しましょう。

○不法投棄、ZER
○イン神谷川(かやがわ)



練り上げた企画を発表する参加者(上)、思いを引き出し文字にする助言を行なうスタッフ(中)、企画づくりを支援するワークシートの使い方を説明するスタッフ(下)

エコアクション21の地域事務局業務を終了

当協会は、エコアクション21の地域事務局業務を本年度末で終了することといたしました。

事業活動を進めており、当初は公益事業として業務遂行しておりましたが、著しく収支バランスを欠く運営状況が課題となっており、当会の一般財団法人移行に伴い、収支管理を厳格化しました。

平成8年(1996年)に環境省が提唱しましたエコアクション21は、日本独自の環境マネジメントシステムで、二酸化炭素削減や水使用量の抑制など、地球温暖化対策を目的とした環境活動を行うものです。取組みへの費用負担を低くして、中小事業者が取り組みやす

くしている点特徴で、全国で約8千事業者が認証・登録を取得しています。当会は、事業者が認証・登録を取得するために必要な審査窓口業務を、地域事務局として事業者・審査員と中央事務局(二財)・持続性推進機構)の中継役を担っていました。地域事務局は(財)地球環境戦略研究機関(現在の持続性推進機構)からの委託業務として、平成17年度から21の理念に添えるよう

14年間に及び業務遂行に精勤して参りましたが、(二財)持続性推進機構が地域事務局のあり方を大きく変える方策(制度)を進めることになりました。当会としては、収支改善の期待が低い新しい制度での業務受託が困難という判断をし、現在、当会がお世話をしていただいております約90事業者の審査窓口は、近隣の地域事務局が責任を持って行えるよう、事業者ごとの審査資料や関係資料の移行を進めております。

「平成30年度公衛協ブロック会議」開催のご案内

平成30年度ブロック会議を、公衆衛生推進協議会の役員および事務担当者を対象に開催します。時間はいずれも10時～15時で、新年度の事業などについて説明します。

ブロック	月日	会場
西部・呉	3/13(水)	広島県公衆衛生会館 6階 講堂
福山・尾三	3/14(木)	環境協東部支所 3階 大会議室
北部	3/15(金)	みよしまちづくりセンター ペペラホール

交通量が多い道路なので、ごみごみを呼ぶような事態を避けるため、効果的な防止方法を模索する取り組み。カメラの設置を視野に、チェック表を作成して時間帯ごとのパトロールを行なうことで傾向を把握する。

○得意な技を活かしてイキイキ講師育成
メンバーの持っているスキルをまとめ、活かせる場を作ることで、楽しく活動するメンバーを増やし、会のメンバー育成につなげる。また、イキイキ取り組むことで、新たなメンバーの獲得もねらう。

○脱温暖化の島づくり
島の危機を発信、島や海岸の地域は、高潮による浸水、豪雨による災害、濃霧の増加など気象の変化による生活の被害を強く受ける。リアルな危機を撮った写真をSNSで発信することで、県民の省エネ意識に働きかける。

○イヌ・ネコのふん清掃「イエローチョーク作戦」
飼い主にフンの後始末を促すため、パトロールを実施。見つけた場所に○印と日時をマークすることで、道路利用者への啓発と美観確保の協力を呼びかける。取り組みは事前に広報し、報告も行う。

参加者が地元に戻り、それぞれの組織のメンバーと企画のブラッシュアップを行い、実践活動として取り組むことで、地域の環境や健康に関するわが町の課題解決につながることを期待します。

平成30年度 地区衛生組織活動資金募集

通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金は、昭和35(1960)年から実施し、平成30年度で59回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円)
53,484,499

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,385,850	83.1
海田町	2,458,201	101.7
熊野町	1,429,288	99.1
坂町	351,500	95.0
江田島市	1,795,050	98.1
竹原市	1,650,800	99.9
大崎上島町	323,200	101.9
大竹市	2,443,616	96.9
廿日市市	3,114,539	91.7
廿日市市大野	2,560,002	102.2
廿日市市佐伯	372,700	90.7
廿日市市吉和	42,300	74.6
廿日市市宮島	189,400	98.1
安芸太田町	712,400	96.5

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	823,200	75.9
安芸高田市	1,369,600	66.5
東広島市	4,153,495	97.3
三原市	1,539,716	91.6
世羅町	786,400	91.5
尾道市	4,251,650	95.5
福山市	8,768,802	100.9
府中市	1,078,360	98.9
神石高原町	293,000	83.0
三次市	1,945,953	81.4
庄原市	2,258,475	93.0
呉市	7,325,691	96.5
その他	61,311	89.6
合計	53,484,499	94.6

事務費に配分された募金は、以下のように活用しています。

- 募金事業PR用ポスター、チラシ、募金袋などの作成
- 振込手数料(公衛協から募金委員会に振り込む際)など

募金委員会事務局からのお願い
平成30年度の募金事業は平成31年3月末までとなります。お手元に募金がある場合は早めに市町公衛協事務局に届けてください。

※この表は、平成31年1月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。